

第2回岩船中学校・神林中学校合同統合検討会

日時：2025/1/29 18:59～20:40

出席者：委員 28 名 事務局 5 名

欠席者：委員 12 名

開会

市教委 第1回合同統合検討会の会議録につきまして、事前資料として配付させていただきました。内容としては記載通りですが、簡単に申し上げますと、意見を出しやすくする資料を事前配布をというご意見いただいておりますし、統合のパターンを示して欲しい。岩船中学校区の委員から、神林中学校区の委員ともっと話し合いをしたいという、そういった意見ございました。統合そのものについては特に異論はなかったと思えますけれども、その時期について、神林中学校統合して数年で、またというご発言ですとか、以前、学校統合した時は、閉校まで3年あった、今の予定を少し遅らせてはどうかといったご意見も頂戴しております。

教育委員会としては、クラスの人数を考えると、なるべく早い時期というふうなことを考えております。それから使用する校舎については、岩船神林対等の立場で比較検討していただく中で、今の神林中学校は現実的なのかというふうなご意見もございました。子ども達のこと、統合前に岩船神林で交流ですとか、一緒にやる活動できればいいなという、ご意見もございました。現在でも防災教育ですとか、部活動に一緒にいる機会があると思うので、そうした交流を増やしていきたいというふうな、学校側のお考えもお聞きしております。この先の通学方法ですとか制服がどうなるのかということをお心配される声もございました。この次の段階、統合推進委員会で協議されることになるわけですが、その統合推進委員会では校歌ですとか、校章なども協議することになります。第1回の検討会では大体こんなご意見だったかなと思いますけれども、何かご質問、ありませんでしょうか。

本日お配りしております資料で、学校統合のパターンをお示ししましたが、これ統合の形態について簡単につけさせていただきました。学校統合の形態としましては、一つは新設統合、統合予定校すべての廃校と新たな学校を設置するという方法と、もう一つが編入と統合予定校のうち、1校を残し、この1校に他の学校も統合するというやり方。大きく分けて統合の形態としてはこの二つ。その形態になるのかなど。1の新設統合については、統合後の校名に行きますと、①として新たに校名を設定する。②として統合予定校のいずれかの校名を使うやり方がある。①の新たに設定するやり方としては、事例ですけれども、平成31年の猿沢小学校と塩野町小学校の学校名は、朝日さくら小学校という学校名で統合し

まして、その時使用している校舎につきましては、旧猿沢小学校を使用しています。

②の統合予定校のいずれかの学校を使うということでは、令和2年に平林小学校、砂山小学校が統合した際、学校名は平林小学校という学校名を使っている。使用をしている校舎については、旧砂山小学校の校舎を使用したということで、この表についてはこういった見方をさせていただきたいと思います。

もう一つの2の編入統合につきましては、編入ですので、統合予定校の1校は、そこに統合されるということで、残り、1校の校名を使われるというふうなことで、これも事例として、平成31年に瀬波小学校、上海府小学校が統合した際、瀬波小学校に編入統合されて、同じく平成31年に小川小学校と三面小学校、編入統合の小川小学校に編入統合されている。その時使用した校舎につきましても、瀬波小学校、小川小学校に編入されたという見方をさせていただきたいと思います。ここまでよろしければ、これから検討事項に入ろうかと思えますけれども、4、校舎資料について進ませさせていただくところですけれども。ここで岩船中学校区の委員からご発言のある旨承っております。

参加者 委員の皆さんの了承を得られればですが、マイクを使ってやると、質問なり要望なりが1人、1人、1人、1人と、こんなふうになるので、時間を有効に使って、もっと委員皆さんの意見を聞きたいと思い、もしできれば、4つか5つのグループで討議を進めていただきたいという提案をしたいのですが、いかがでしょうか。

市教委 今、マイクを通すやり方でなく、もっと皆さんの意見を聞き取りやすくするように4つぐらいの小グループに分けて討議していただいてはどうかというご提案なのですが、いかがでしょうか。

参加者 わたしは賛成です。すごく距離が遠くて、話しが届きにくい。距離が遠いし、本当に今ほど提案者の方が言ったように、1人の意見で誰かが入るっていう感じなので、発言の機会も少ないと思いますし、少人数で話し合った方が、意見を出しやすいと思うので、賛成です。

参加者 グループ討議にて協議題今日決めるのか、話題を出し合って終わりなのか、ワークショップ形式決めてから、今日の議論の最終のがどこなのかっていうのをきちんと決めてからやらないと有効な協議にならないと思うので、それについて教えていただきたいと思います。

市教委 事前にお話を承った段階では、今日のところは皆さんのご意見を聞き取って、

聞き取った意見を一旦うちで整理して皆さんの方にお配りして、次回以降の検討会を開いて、その中で今日の使用校舎ですとか、統合の形態についての検討事項について決定したいと考えています。

参加者 本日は情報共有のための協議でお願いしたいなと思います。
質問ですが、1月21日火曜日の新潟日報に高橋邦芳市長からの記事で、学校を含む公共施設のネーミングを募集するとありました。
この件について、教育委員会としてはどうなのかお聞きしたいと思います。

市教委 お答えいたします。現在、村上スケートパークについてネーミングライツの募集しているところです。
その他、市長の考えだと、公共施設すべてについて、対象として良いではないかという考えです。市から名乗り出るのではなく、企業等からネーミングライツ応募してきたら、学校も対象となりうる可能性があるということで、決してそれを強く推進しているわけではないと私は思っております。
その可能性があるということだと思います。そのようにネーミングライツのガイドラインを作りました。

市教委 小グループで討議というふうなことで、進めさせてもらってよろしいでしょうか。テーマとかグループ分けはどのようにお考えでしょうか。

参加者 4つぐらいが妥当かな。

市教委 会場はここでグループ4つの、この中で。

参加者 名簿ありますよね。この中から、A B C D、A B C D、A B C Dとグループ分けしてはどうですか。

市教委 では、名簿の上から順にA B C D、A B C Dで振り分けさせていただきたいと思います。

市教委 グループ分けについては、お配りした通り、A B C Dで4グループで分かれていただきたいと思いますし、会場は、そのまま4グループに分かれて。テーブルも必要ですかね。

市教委 小グループで、マイクを通さないというやり方で、ざっくばらんな。これ職員入った方がいいですか。入らない方がいいですか。

参加者 入った方がいいかな。

市教委 4つのグループに、学校教育課の職員が1人ずつ入って、メモを取らせていただくかと思います。

市教委 終わりましたら最後に、発表させていただきたいと思います。職員がメモを取らせていただきますので、終わりましたら、職員から、概要を発表させていただこうかと思います。時間は30分ぐらいを目途にしたいと思いますので、7時25分から7時55分を目途にグループ討議を行っていただくかと思います。1グループ一つのテーブルを使って、後ろの方に用意してございます。テーブルを使ってやりたいと思います。

(グループ討議)

市教委 大変ご苦労さまでした。
まとめということで、簡単に各グループから発表させていただきますけれども、はじめにAグループの方から発表しますけれども、Aグループの方は私が入らせていただきました。

大体校舎については、前回、意見の中で出てきた神林中学校になるんだろうなという感じでしたけれども、使用しなくなる校舎もある。その跡地利用を考えたほうがいいんじゃないですかというご意見がありました。学校名については、お互い歩み寄って、良いところに落ち着けばいいんじゃないですかねというふうなご意見もございました。統合の形態についても、これも歩み寄って、良いところに落ち着いていただきたいなというふうなご意見でした。ただ、単純な吸収、これは避けたいなというふうなご意見でした。神林と岩船との統合です。吸収ということではなく、どちらかの校舎といったときに、そちらの方に寄った学校の方のよかった部分を残していける統合にしたいなと、そういったご意見をいただいております。Aグループ以上です。

市教委 Bグループはいろいろな意見を聞かせていただきまして、かいつまんでの発表になりますけれども、まず最初に、前回の合同統合検討会での説明が足りなかった。あんまりその地域への理解が足りないままに進めてしまうと、やっぱりその後、協力しない保護者等が出てくるのではないかという懸念があるとの意見がありました。学校だより等に関しても、単純な部分で説明が足りないのではないか。校舎を決める際にも、見落とし部分があるのではないか。資料については、岩船中学校でバスのロータリーを建設するといくらかかるとか、

神林中学校でバスのロータリーを建設するといくらとか工事費を示して欲しい。だから、〇〇中学校の方が工事費等安くすむので、こちらの校舎に決まったよよみみたいな、具体的な事例みたいなものがあると、検討する時にも説明しやすいのではないかとというのがありました。統合形態につきましては、編入合併ではなく対等で統合して欲しいとの意見もありました。統合につきましては、校名と校歌は変えたほうがいいのではないかと。いろんな意見ありましたが、討議内容を改めてお知らせさせていただきたいと思います。以上です。

市教委 Cグループです。意見があった順に報告します。まず、統合推進委員会では何を決めたのかという意見がございました。次に、統合後の校舎は岩船も残したいという意見もございましたし、保護者としては、神林中を使用したいという岩船地区選出の委員からの意見です。神林中学校の方が生徒の安全性の高いという理由です。旧平林小は地域が集う中核として使用しているということです。数年前も水害で災害に強いのは鉄筋コンクリートの校舎、ということを経験している、やっぱり避難所としての機能が重要になるということで、常に校舎を使用していた方が老朽化が進まないのではないかとということでした。ある学校では、実行委員を立ち上げて約1年で閉校まで持っていったという実績もあります。どのタイミングで統合しても、統合時期は早いという意見は出てくるのではないかとという意見もございました。統合は新設統合も可能性としてはあるのではないかと。保護者としては神林中の校歌校章を残したいということを考えているが、校歌を一部付け足して作るということもありなのかなという意見もございました。何度も統合を経験した立場としては、兄弟間のいわゆるお下がりができないということで、費用が生じることはなるべく避けたいという意見がございました。母校の校歌は丸暗記しており、思い入れがある。神林中と岩船中は、すでに生徒同士交流をしており、円滑な統合ができるのではないかとこの意見もありました。統合後の中学校に入学する小学生の交流が非常に重要という意見がございました。すでに平林と神納小は、合同のゲストカルチャーという事業で交流をしており、そこには岩船小が加われば、交流が発展するのではないかとこの意見でした。以上です。

市教委 続きまして、Dグループのご報告をさせていただきたいと思います。まず、岩船中学校区の委員からは、統合は必要と思う。仕方がないと思うけれども、地域から学校が、無くなるという事で、まちの衰退が心配だという声、校舎も神林中になるだろうなと思うけれども、岩船の歴史ある名前にはこだわりがある人が多い。統合するにあたり、学校を閉校するためのこれからどんな手続きがあるのかということ、また校舎の利活用がどのようになっていくのか不安を持っているというお話でした。神林中中学校区の委員からの声ですけれど

も、神林地域は平林小と砂山小学校の統合の経験があるので、岩船の人たちの気持ちはよく分かるというお話でした。今、旧平林小がドローンスクールで使われてることを事例に挙げられて、空いた校舎の利活用にはそういったこともあるんだよというお話がありました。岩船中学校が組合立だったという歴史がありますので、神林側には非常に親しみがありますという、ご意見がありましたし、統合は寂しいけども、避けられないことだろうと皆さんが納得できるやり方があれば、一番良いねというお話でした。

また、保護者の方の意見でしたけども、生徒達は、おそらく統合になっても心配はないと思うんだけど、親が不安を拭えないので、何か踏ん切りがつけられないかなという気持ちがあると。そういったお話を受けましたし、それに対しても、事前の交流で対応できるのではないのかっていうような声もありました。岩船中学校区の委員からは、神林中が統合して6年で校名が変わったり、校歌が変わったりすることに抵抗はないのかということを心配しているという声がありました。中には、妥協する案として、新しい校名など考えている人もいますというお話でした。神林中中学校区の委員に、校名変更はどうでしょうねと聞きましたらそこが一番問題だよねという明確な答えというのにはなかったが、そこが、ポイントになってくるのかなと思いました。Dグループ以上です。

市教委 ありがとうございます。答弁いただいた内容につきましては、こちらの方で清書して、一旦皆さんの方に配布したいと考えております。皆さんに目を通していただいて、再度この合同検討会を行いまして、検討事項であります使用校舎についてと、それから統合形態について、合意を形成したいと考えております。なるべく採決というやり方ではなく、話し合った中で、合意が得られればいいかなと思っております。それで、次回検討会についてなんですけれども、3月半ばを予定しております。会場は同じくこちら神林の農村環境改善センターで、ホールの空き状況見ますと、3月11日の火曜日、14日金曜日、この辺が空いておるんですけれども。例えば3月11日の火曜日、ご都合が悪いっていうか方、今の時点でわかる方いらっしゃいましたら。

次回3月11日開催を確認

閉会